彼は1日も、”わが主よ、報いの日、私の罪をお赦し下さい”とは言わなかった。」

アーイシャ（アッラーのご満悦あれ）は言った： 私は言った：「アッラーの使徒よ、ジュドゥアーンの息子はジャーヒリーヤ時代、親戚関係を良好に保ち、恵まれない者に食を施していました。そのことは役に立つのでしょうか？」彼は言った：「彼は1日も、”わが主よ、報いの日、私の罪をお赦し下さい”とは言わなかった。」 [صحيح] [رواه مسلم]

預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は、アブドッラー・ブン・ジュドゥアーンについて語った。彼はイスラーム以前の時代、クライシュ族のリーダーの一人だった。 彼にはよい行いがあり、親戚関係を良好に維持し、善行を施し、恵まれない人に食べさせるなど、イスラームが勧める高徳の行いを実践していた。しかし彼の行いは来世において、彼の役に立つものとはならない。それはアッラーに対する彼の不信仰のためであり、彼が1日たりとも「わが主よ、報いの日、私の罪をお赦し下さい」とは言わなかったためである。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/65009